

### 平成 23 年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	女神湖妖精祭による地域活性化事業
事業主体 (連絡先)	立科女神湖妖精祭実行委員会 実行委員会事務局 (ヴィラ・ラフィネ内。☎0267-55-7456)
事業区分	(6) 産業振興、雇用拡大に関する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	3,716,560 円 (うち支援金: 3,000,000 円)

#### 事業内容

- ・八ヶ岳中信高原国定公園の中心に位置する白樺高原地域の独自性、話題性を高め、観光端境期でも集客できる地域活性化を図るため、全国に例を見ない“妖精祭”を年4回開催した。(5月、6月、10月、2月祭)
- ・単なるイベントに終始しないよう、学術的アドバイスを比較英文学者で、フェアリー協会名誉会長の井村君江先生にお願いし講演会を開催すると共に、同氏の新訳による W.シェイクスピア原作「夏の夜の夢」を6月祭に上演するなどの工夫を行った。
- ・地元ダンスサークルで練習する児童達をイベントに毎回参加させ情操教育と、山と里の交流を目指した。



【 6月祭「夏の夜の夢」 】

自己評価 (事業実施率) 【 A 】

#### 事業効果

- ・白樺高原地区の観光端境期である5月、10月に話題性ある“妖精祭”事業を開催したことで集客促進の一端を担えた。立科町議橋本昭氏の報告では、昨年秋までの集客数は前年比111%増である。
- ・“妖精”は自然が豊かで水の清らかな土地を好むとヨーロッパでは伝えられている。当地は正に該当し、各イベントを通じて自然と環境保護の重要性を啓蒙できた。
- ・地元児童ダンスサークルの発表の場として、またスキー学校で集う中学校生との交流で情操教育への貢献もあった。
- ・ユニークな“妖精祭”は新聞・TV・ラジオ局等マスコミへの話題性があり、マス媒体を通じた観光PR実現

#### 【目標・ねらい】

- 立科女神湖地域観光活性化
- “妖精”をキーワードとした自然環境保護と啓蒙
- ダンスを通じた地元児童の交流と情操教育
- マスコミ活用した観光地“たてしな”のPR

自己評価 (目標達成率) 【 A 】

#### 今後の取り組み

- ・自主的な活動としてスタートした平成22年、元気づくり支援金事業に認定いただき規模拡大した平成23年の2年間の実績 (イベント事業開催回数延べ7回) を基に、更なる地域おこし事業として継続する。
- ・年間4回開催は、ヨーロッパで妖精たちが人間世界に最も近づく季節と連動しているが、実行する側の準備が過大なので、平成24年度は年間3回の事業として内容の充実を図る。
- ・農畜産物の名産地としての「たてしな」を妖精キーワードにブランド化する取り組みを行う。

※自己評価欄は「A」90%以上「B」70~89%「C」50~69%「D」49%以下で示すこと。